

神奈川県立横浜ひなたやま支援学校 第2回学校運営協議会 開催報告

本校の学校運営協議会を次のように開催しました。

名称	神奈川県立横浜ひなたやま支援学校 第2回学校運営協議会
開催日時	令和6年10月29日(火) 9時30分～12時
開催場所	横浜ひなたやま支援学校 ふれあいルーム
出席者	学校運営協議会委員7名 学校事務局8名
次回予定日	令和7年2月25日(火) 9時30分～12時
問合せ先	横浜ひなたやま支援学校 副校長 藤田 みゆき 電話 045-300-5611 FAX 045-303-2330
議題	<p>学校評価部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間評価について</li> <li>・夏季休業中の職員研修報告</li> </ul> <p>切れ目ない支援部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県特別支援学校知的障害教育研究会発表について</li> <li>・作業班の活動報告</li> </ul> <p>グループ協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aグループ 教育課程</li> <li>・Bグループ 防災</li> <li>・Cグループ 進路</li> </ul>
審議(会議)経過	<p>【学校運営協議会】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員挨拶</li> <li>(2) 学校長挨拶</li> <li>(3) 大型電子黒板紹介</li> <li>(4) 高等部2年生徒発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内実習について</li> </ul> </li> <li>(5) 高等部1年生徒発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習について</li> </ul> </li> <li>(6) 中間評価及び夏季休業中の職員研修報告について <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期に取り組んだことを手持ち資料やパワーポイントを使用して説明</li> </ul> </li> <li>(7) 神奈川県特別支援学校知的障害教育研究会発表について <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表したパワーポイントにて報告</li> <li>・主な質問や指導主事からの助言等を報告</li> </ul> </li> <li>(8) 作業班の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度からの変更点、地域貢献、作業班間での連携、校内貢献について報告</li> </ul> </li> <li>(9) 質疑・意見</li> </ol> <p>委員</p>

	<p>学校と地域との緊急連絡先を教えてください。</p> <p><b>委員</b> 最近、自己肯定感が低い生徒が増えたように感じる。自己肯定感を高められるような取り組みがあってほしい。</p> <p><b>委員</b> 今日の話を受けて、生徒たちの作業がどこまでできるのかをイメージすることができた。庭の清掃については、近隣に声をかけていきたい。</p> <p><b>委員</b> 防災に関して多岐にわたって様々なことをしていると感じる。</p> <p><b>委員</b> サービスとしての対価は受け取らない。体験として作業をやらせていただき、活動の姿勢に対して評価をいただいている。開校から生徒は、一生懸命作業に取り組んでいて、役に立つことが自分たちの成果と理解しており、作業に取り組んだ後の達成感には十分に感じている。先生方が日頃頑張っているのも、子どもたちはまっすぐに育っているような感じがしている。</p> <p>(10) グループ協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A グループ 教育課程 本校は、「職業」に関連した時間が多く、特色となっている。一人一台端末のルールは大切と考える。学校と家庭と連携していくことが必要。3年間の学習内容表の見直しを行っている。</li> <li>・B グループ 防災 近隣公園に初期消火箱があるので、それを使ってもよい。本校でも、生徒と地域の方と一緒に避難所体験を計画している。来年度計画している講演会開催に向けての情報共有も実施。</li> <li>・C グループ 進路 社会への参加意識を学校で学習してほしい。学生のうちにやることは、支えてもらうところと、ここは守らなければならない、やらなければならないところをきちんとルール化すること。将来のことを具体的に自分で考えさせる。また、少しチャレンジ実習をさせるために、学校が背中を押すことも大事。</li> </ul> <p>(11) 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
事務連絡	次回は令和7年2月25日（火）実施予定